

赤松林太郎徹底講座シリーズ

「四期」の知っておくべきこと
-作曲家とその時代の音楽的語法- バロックpart.2

大人気の講座も3年目に入りました。
前回に引き続き、バロック時代の作品を取り上げ、
バロック作品の魅力や奏法について知識を深めて
いきましょう。今回は、バロックの指導に欠かせない
プレ・インヴェンションやインヴェンション・
シンフォニアを中心に上げます。

【参考テキスト】

- ◆♪新刊♪合奏譜によるJ.S.BACHシンフォニア(東音企画)
- ◆プレ・インヴェンション/インヴェンション/シンフォニア(各社版)

日 時: 2017年10月20日(金) 10:30-12:30

会 場: 内藤楽器ハーモニーBOX

受講料: 一般

3,500円

会員 (ピティナ, FC, PEN, jet, PSTA)

3,300円

ピティナ甲府支部会員

3,000円

【申込方法】

申込書にご記入の上、下記連絡先までFAXいただくか、
お電話にてお申し込みください。

また、ピティナHPからのお申込みも可能です。

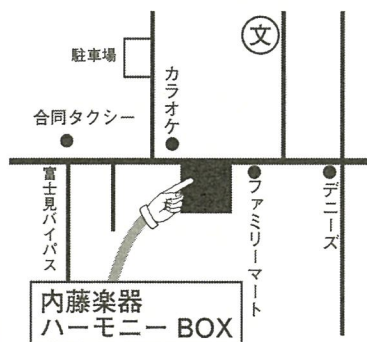
<http://www.piano.or.jp/seminar/list/>

【主催、お申込・お問合せ先】

ピティナ 甲府支部

TEL: 055-253-4711 FAX: 055-252-7429

(営業時間 10:00-18:00 ※月曜日定休)



JR甲府駅よりタクシー8分



講師 赤松 林太郎 先生

2歳よりピアノとヴァイオリンを、6歳よりチェロを始める。幼少より活動を始め、5歳の時に小曾根英氏や故・芥川也寸志氏の進行でテレビ出演。10歳の時には自作カデンツァでモーツァルトの協奏曲を演奏。1990年全日本学生音楽コンクールで優勝して以来、国内の主要なコンクールで優勝を重ねる。1993年仙台市教育委員会より平成5年度の教育功績者に表彰。1996年第1回浜松国際ピアノアカデミーに参加。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得(室内楽は全審査員満点による)。ピアノを熊谷玲子、ミハイル・ヴォスコレンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミコー、ジョルジュ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をニーナ・バタルチェツ、クリスチャン・イヴァルディ、音楽学を岡田暁生の各氏に師事。2000年にクララ・シューマン国際ピアノコンクール(審査員にはマルタ・アルゲリッチやネルソン・フレイレなど)で第3位を受賞した際、Dr. ヨアヒム・カイザーより「聡明かつ才能がある」と評された。国際コンクールでの受賞は10以上に及ぶ。国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、台湾、コロンビアなどを公演で回る。近年では2013年よりウィーン各地で室内楽コンサートを開始。2013年秋にデュッセルドルフにてリサイタル、2014年と2016年に生前のバルトークが使用したピアノ(ハンガリー科学アカデミー所蔵)でリサイタル、また2015年春のドナウ宮殿におけるドナウ交響楽団(デアーク・アンドラーシュ指揮)との共演を成功させ、夏はミラノでソロリサイタル、秋はブダペスト、ウィーンにて公演。2016年秋にハンガリーのドナウ国際音楽コンクールの審査員長を務め、2017年にドナウ交響楽団との再演も決まっている。これまでに新田ユリ、手塚幸紀、堤俊作、西本智実、山下一史の指揮のもと、東京交響楽団やロイヤルメトロポリタンオーケストラ、ロイヤルチェンバーオーケストラなどと共演。NHK交響楽団や東京フィルハーモニー管弦楽団などのメンバーと室内楽も行い、多くの音源(YouTube)に残している。2014年にキング・インターナショナルから《ふたりのドメニコ》(レコード芸術特選盤)と《ピアノの天使》をリリースして各誌で絶賛される。1,000名以上の指導に携わり、国内外の主要なコンクールで多くの受賞者を輩出している(PTNA特級グランプリ・銀賞・銅賞、東京音楽コンクール優勝他)。審査員やマスタークラスの講師はもちろん、エッセイストとして新聞や雑誌にも連載を持っており、新刊として『赤松林太郎 虹のように』を出版(道と書院、2016年)。「美しいキモノ」ではモデルも務める。現在、全日本ピアノ指導者協会評議員・演奏研究委員。ブダペスト国際ピアノマスタークラス(ハンガリー国立リスト音楽大学)講師、洗足学園音楽大学客員教授。
<http://rintaro.jp/>

◆ 2017年10月20日(金) 赤松林太郎先生 講座申込書 ◆

氏 名	ふりがな	種 別	☐ 一般
			☐ 会員(ピティナ, FC, PEN, jet, PSTA)
住 所	〒	e-mail	☐ ピティナ甲府支部会員
		TEL	()
		FAX	()

※お客さまが本書面に記載された個人情報は、法令で定める場合のほか、お客さまの承諾なしに他の目的には使用いたしません。

ピティナ・ピアノセミナー概要

本チラシのセミナーは、「ピティナ・ピアノセミナー」のシリーズに該当しております。「ピティナ・ピアノセミナー」とは、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)の支部・連絡所・ステーション・団体会員が主催／共催している講座で、全国のピアノ指導者を対象に、継続的な指導力研鑽を支援しています。2007年度より、希望者には、「セミナーレポート」提出に伴う指導者ポイント付与、「受講証書」および「指導者パスポート」の発行をしております。

ピティナ・ピアノセミナーの特徴

①指導者パスポート

- ・受講者には、当日会場にて「受講シール」が配布されます。
- ・「受講シール」を「指導者パスポート」に貼付することで、セミナー受講記録として活用できます。
- ・「指導者パスポート」は、ピティナ会員で初受講の方に、無料にて配布します。

②セミナーレポート

- ・セミナーの時間内で「セミナーレポート」を執筆する時間(10分程度)を設けています。
- ・「セミナーレポート」には、①セミナーの概要②受講の感想・意見、をご記入いただきます。
- ・「セミナーレポート」は、希望者には、講師にサインをしていただいた後、返却されますので、貴重な研修資料として保管できます。
- ・「セミナーレポート」の提出者には、指導者ポイントが1ポイントが付与されます。

③受講証書

- ・「セミナーレポート」を合計10回・25回・50回提出いただいた方には、「ピティナ・ピアノセミナー受講証書」が発行されます。

④指導者賞

- ・「セミナーレポート提出」による指導者ポイントは、ピティナ指導者賞のポイント対象となります。詳しい授与規定についてはピティナ・ウェブサイトでご確認下さい。(2012年度現在)

⑤指導者検定

- ・「セミナーレポート」は、「ピティナ・ピアノ指導者検定」のレポート課題の審査資料になります。詳しくはピティナ・ウェブサイトをご覧ください。

⑥lingプログラム

- ・「セミナーレポート」の提出者には、lingポイントが付与されます。また、「セミナーレポート」返却時にReportシールをお送りいたします。



指導者パスポート



セミナーレポート



受講証書



lingプログラム
Reportシール

2 申込から受講後の流れ

受講日前日まで

1. 受講申込み

チラシ掲載の受講申込書にてお申込ください。ピティナ・ウェブサイト(www.piano.or.jp)からも受講申込が可能です。

受講日当日

2. セミナー受講

受講日当日、会場にて、「受講シール」「セミナーレポート用紙」を配布します。

3. レポート提出

受講後、受付にてセミナーレポートを提出ください。やむをえず講座終了後に提出ができなかった場合は、講座当日中でしたらFAX(03-3944-8838)にて本部でレポートをお受付することも可能です。(尚この場合はレポートの返送はございません)

受講後1ヶ月以内

4. レポート返却

返却希望者には、提出されたレポートは、講師にサインをしていただいた後、提出者にピティナ本部より郵送にて返却します。ピティナ会員の方にのみ、初回提出レポート返送時に、指導者パスポートを同封いたします。

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(略称ピティナ)

〒170-8458 東京都豊島区巣鴨1-15-1

TEL: 03-3944-1583 FAX: 03-3944-8838 E-mail: seminar@piano.or.jp

www.piano.or.jp/seminar

※「ピティナ・ピアノセミナー」に関する詳細は、ピティナ・ウェブサイトをご覧ください。
ご不明な点等は、本部事務局まで直接お問い合わせ下さい。